

精神障がい者相談コーナーより 病気の理解(2) ～幻覚に対する周囲の対応～

前号(56号)では統合失調症の代表的な症状についてお話させていただきましたが、幻覚症状のつらさを少し理解していただけたでしょうか?私は先日、幻聴の体験をする機会がありました。たった10分程の体験でしたが、途中で逃げ出したくなるほどのしんどさと、体験後にかなりの疲労感を感じました。

今回は、幻覚に苦しんでいる方への接し方を少しお話させていただきたいと思います。幻覚の話をした場合、「そんなことないよ」と否定したくなると思いますが、まずは否定せずに聞いて下さい。周りの人には見えないもの、聞こえない声や音を当事者の方は現実として感じられています。幻覚は当事者の方にとって幻(まぼろし)ではなく現実なのです。そして、幻覚の話は深く聞かないことです。深く聞いてしまうと、当事者の方は幻覚の世界に深く入り込んでしまわれると言われています。では、どのように対応すればよいのですが、少しずつ会話を別の内容にするように心がけて下さい。幻覚の内容から自然な流れで話題を逸らすのです。

次回は、統合失調症が疑われるサインについてお話したいと思います。

(ピアサポーター：池田 祐美)

相談は、電話やメールでも受け付けています。曜日や時間ごとに、いろいろな経験をされた家族や当事者が担当しております。(来所される際は、事前にご連絡をお願いします。TEL079-269-9034)



ヤングケアラーについて知ってみよう②

私にはヤングケアラー経験があり、こちらではヤングケアラーに関するお話を書かせていただいています。なお、ヤングケアラーとは、法令上の定義はありませんが、一般に「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものこと(引用:厚生労働省)」を言います。私自身、子どもの頃に家事をするということはよくあることでした。身の回りのことを自分がしないと生活が成り立たなかったのが、家事をせざるを得ない状況でした。

さて、ここでは何が問題となるのでしょうか。今回は、ヤングケアラーにおける問題について考えてみたいと思います。私としては、「子どもがケアすることを強制されるなかで、子どもの権利や可能性が奪われること」がヤングケアラーにおける問題だと思っています。子どもがケア(家事など)をしなければいけない状況では、その時間に勉強をしたり、遊んだり、好きなことをしたり、ということができません。それは子どもの権利侵害にあたり、子どもが発揮しうる可能性を奪っていると思います。(下記「子供の権利について」参照)

こうした問題において、しばしばその子どもの周囲にいる家族が責められることがあるように思っています。しかし子どもがケアせざるを得ない状況になっているのは、家族の責任ではなく、社会の責任であると思います。子どもと同時にその家族も困難な状況にある事が考えられますので、家族を責めても何の解決にならないと考えています。もし、家族が責められてしまったら子どももつらいように私は感じます。

ヤングケアラーと聞くと子どもへの支援を想像しますが、子どもだけではなくその家族への支援も広がっていくことを願っています。

(会員 下村 真代)



■子どもの権利について(参考:ユニセフ)

ひめかれん賛助団体会員にご加入・ご支援頂いている法人・企業様です

- ・社会医療法人恵風会 高岡病院 様
- ・医療法人山伍会 播磨大塩病院 様
- ・医療法人全人会 仁恵病院 様
- ・医療法人内海慈仁会 姫路北病院 様
- ・医療法人仁寿会 石川病院 様
- ・株式会社 平井工業 様
- ・菊川荒木内科心療内科 様
- ・ふじわら心のクリニック(心療内科、精神科) 様
- ・松島クリニック(精神科、神経内科) 様
- ・株式会社 ゴトウ・アズ・プランニング 様
- ・阿比野建設株式会社 様
- ・株式会社 坪田工務店 様

ひめかれんを応援してくださる賛助団体会員への入会をお願い致します

- ・表 瓦 株式会社 様
- ・十字屋刺繍有限公司 様
- ・平野屋米穀店 様
- ・神昌クリエイティブ株式会社 様
- ・NPO法人ラーフ・ウッド福祉会 様
- ・株式会社 井上鉄工所 様

[順不同]

『ひめかれん』は、精神障がい者が地域の中で安心して生活できるよう、精神疾患についての正しい知識や理解の普及をはかったり、精神障がい者の医療や福祉の向上を促す活動を続けています。

ひめかれん

第57号

発行日 2023年2月25日

編集人 特定非営利活動法人姫路市精神保健福祉連合会
(通称:ひめかれん)

事務所 〒670-0955 姫路市安田三丁目1番地
姫路市総合福祉会館3階

H P <http://www.himekaren.com>

E-mail himekaren@ba.wakwak.com

TEL 079-269-9034 FAX 079-269-9035

『すべてのわざには時がある』(聖書の言葉)

理事長 三木 章弘

昨年12月10日、国会で「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律等の一部を改正する法案」が可決成立した。ちょうど12月末に毎年開催される、姫路市保健所主催の「姫路市精神保健・医療・福祉連絡会」でもその内容資料の一部が配られ、病院、市の関係部署の出席者にも周知された。



左より 白井議員 清元市長 三木理事長
姫路地区手をつなぐ育成会 外川副理事長
竹中議員

また、12月26日「福祉医療助成制度に於ける障害者に関する要望書」を清元姫路市長に会って(姫路地区手をつなぐ育成会と姫路市議会精神保健福祉研究会と共に)手渡し機会があった時にも説明した。「姫路市は兵庫県内の市町と比べて、こうした助成制度や精神障がい者の相談支援体制が遅れあていますよ。何とか前向きな対応をお願いします」と申し入れた。市長からは「こうした案件は行政だけでなく、姫路市医師会の方々にもご指導をいただいたら良いのでは」との言葉をいただいた。今後は上部団体の「ひょうかれん」とも協力しながら兵庫県や姫路市にこうした助成制度等の拡充には「実施するには時がありますよ」と訴えていきたいと願っている。

ところで昨年末「生まれるに時がある」ことを教えられた。それは、12月に6人目の孫が誕生したときの出来事。生まれる2週間前の健診で母親がコロナ感染と診断され、「神様守って下さい」と祈った。12月2日に「元気で生まれたよ。母子とも元気だよ」とのLINEが入った。しかし、その後母親だけが病院を退院すれど、赤ちゃんはなかなか退院できなかった。その間、病院(NICU)と自宅を一日1回ネットでつなげて写真を送ってもらい、一喜一憂するなか「医師・看護師の皆さん助けてください」と願った。(年末に退院でき、感謝!)「誰しもが誕生の時、こうして親・親戚・周りの者等から祈ってもらいこの世に生を受けてきたのだ」と、その時思った。そこであらためて、与えられた余生を今のボランティア活動に全力を注ぎたいと強く思った。

もう一つ「死ぬるに時がある」ことを知った。それは数カ月前まで元気だった姉妹が難病で8月に急逝された。78歳だった。また、もう一人10月に69歳の若さで天に送った。持病が悪化したと聞いた。3カ月前まで元気で親しく話した仲だった。二人とも「ひめかれん」の賛助個人会員と賛助団体会員として長くご支援していただいた方だった。「神様なぜなのですか。障がい者や刑に服して更生する人たちを熱心に支援して下さる方をこんなに早く召されるのですか」と問い、「人には神のなされるわざを見極めることができない」ことを思い知らされた。

こうしたことを思う時、先に述べたように、与えられた今の時を精一杯全力で頑張ろうと思った。当会は新しい年も姫路・中播磨地区の精神保健福祉の向上のため、頑張って取り組んでいきたい。

ひめかれん会員・賛助会員募集

ひめかれん活動は皆様の会費、ご寄付により成り立っています。活動に賛同し、ご理解いただける方は、是非、ご協力をお願い致します。

会費

- ◆会員◆ 個人年会費 一口 2,000円
- ◆賛助会員◆ 個人年会費 一口 2,000円
- 団体年会費 一口 10,000円
- 施設年会費 一口 20,000円

お振込先 (加入者名:ひめかれん)

- ・郵便局から郵便局 ⇒14380 -73347551
 - ・他銀行から郵便局 ⇒郵便局口座番号 438支店 普通 7334755
- 〔郵便局の振込取扱票をご使用の場合〕
口座記号番号:00940-3-196771



日時: 2023年1月27日(金)
10:00~16:00
*公演は13:30~15:00
場所: 姫路市総合福祉会館5階
第1・第2会議室 / 第5会議室



受付で来て下さった方に記念品としておひとつプレゼントしました。すべて加盟施設の授産品の手作りスイーツです。

大好評で、とても喜ばれました。

作品展 (第5会議室)

今回も力作揃いの作品展! 1~3位に選ばれた作品はもちろんのこと、どの作品にも一人一人の思いが込められていたように感じました。

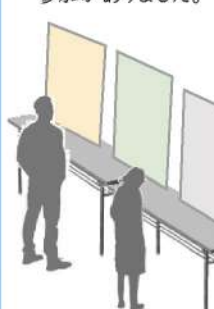


↑1年かけて製作された大きなレース編みには、「皆さまに春と共に幸せが訪れますように」との願いが込められています。



パネル展示 (第1・第2会議室)

パネル展示では、ひめかれん加盟施設19カ所の事業所紹介が、施設の種類別に勢揃いしました。作業内容や一日の流れなど、それぞれの施設の特徴がまとめられていました。午前中のパネル展示だけで、70名ほどの方が見に来られ、公演とあわせて全体では156名の参加がありました。



姫路市保健所や、姫路市障害福祉課のパンフレットも展示されました。

公演「藤野ひろ子さんと歌おう」(第1・第2会議室)

藤野ひろ子さん(日本コロムビア歌手)の公演では「君をのせて」「さんぽ」などのジブリの曲や、「365日の紙飛行機」「パプリカ」や童謡などみんなが知っている曲を楽しみました。

ただ音楽を聞くだけではなく、それぞれが持参した音の出る楽器を叩いて、会場全体が一体となって音楽を楽しみました。



マイドリーム職員の会井さんもバイオリン演奏で参加。

福祉医療助成制度に於ける障がい者に関する要望と回答



12月26日(月) 清元姫路市長に上記要望書を手渡しました。また、1月10日(火)に姫路市より回答が下記の通り文書でありました。(要望内容)

- 重度障害者医療助成制度について対象者を拡充してほしい。
- 現在、姫路市では対象者は身体1・2級、知的A、精神1級です。
- 対象者を身体障害者3級、知的障害者B1、精神障害者2級に拡充してほしい。

(姫路市の回答)

福祉医療費の助成は、常に日常生活において様々な援助を必要とする重度の障害者に対する経済的な支援をすることを目的としています。

本市が拡充を行うには、他の公費医療負担制度との公平性を確保した上で、関係機関との調整が必要となると考えます。

このような制度は、全国一律の水準で実施されることが望ましいことから、引き続き、国に対して制度の創設を求めるとともに、県に対しても、制度拡充の要望を行います。

また、障害の種別に応じた特性を適切に把握し、中長期的な視点に立った本市の財政運営に与える影響や制度の持続可能性などを考慮しつつ、他の障害福祉に関する事業を含め、どのような支援ができるかについて検討します。

第10回かたらいの場および新年会

日時: 2023年1月21日(土)
13:00~15:20
場所: 姫路市総合福祉会館5階
第3会議室
参加者: 17名

第8波のコロナ禍真っただ中のため、新年会は食事会を止めビンゴゲーム大会にしました。賞品は、お菓子の詰め合わせを用意し、和気あいあいの中、大いに盛り上がりました!

かたらいの場は、二部制として、前半は従来通りのかたらいの場。後半は、前回よりマンネリ防止で、話題提供資料を読み合わせし、参加者でその内容について感想や意見交換をしました。半年振りの方々、初参加者も来て頂き、嬉しいです。

ひめかれん加盟施設紹介

就労継続支援B型

作業所はりまっ子・書写作業所

ワークスノバ田寺・しらさぎ作業所

地域活動支援センターみなみまちげんき

NPO 法人はりま福祉会(事務局)

住所: 〒670-0814
姫路市野里上野町1丁目1番6号
中津ビル301号
TEL: 079-224-0185
FAX: 079-224-0189
E-mail: npoharima@star.ocn.ne.jp

作業所はりまっ子

TEL/FAX: 079-283-7522

- ・簡単な電気部品作業
- ・草刈作業
- ・飲食店(はりまっ子・歴博店美術館店)での接客作業

皆さん生き生きと毎日取り組まれています。



書写作業所

TEL/FAX: 079-267-0661

- ・内職作業
- ・草刈作業
- ・役場清掃作業

明るく家庭的な雰囲気です。いつも利用者さんの笑い声が聞こえる作業所



ワークスノバ田寺

TEL/FAX: 079-293-1855

- ・内職作業
- ・草刈作業
- ・ドーナツ販売

美味しいと評判の焼きドーナツは美術館・博物館館内の喫茶コーナーでもお買い求め頂けます。



しらさぎ作業所

TEL/FAX: 079-284-2600

- ・クロネコDM便配達事業
- ・施設外就労(神姫バス株式会社)
- ・内職作業
- ・草刈作業
- ・弁当づくり
- ・バザー活動

障害特性に応じた就労支援や生活支援などを行っています。



みなみまちげんき

TEL/FAX: 079-284-2408

- ・アーモンドせんべい製造・販売
- ・押し花ファイル・箸袋・コースターの作成
- ・喫茶コーナーでの接客作業
- ・お菓子づくり

皆さん楽しく過ごされています。



焼きドーナツ



和紙で作ったトレイ等



アーモンドせんべい

～ お問い合わせ・ご見学 お待ちしております ～